

平成28年7月14日に栃木県宇都宮市で発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月14日 14時30分頃、栃木県宇都宮市石井町（いしいまち）から上籠谷町（かみこもりやまち）で突風が発生し、住家の屋根のトタンの飛散などの被害がありました。

このため7月15日、宇都宮地方気象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストの可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・被害または痕跡から推定した風向に発散性がみられた。
- ・漏斗雲または移動する渦の目撃など、竜巻の発生を示唆する情報は得られなかった。
- ・突風は強雨やひょうを伴っていたという証言が複数得られた。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約40m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当する。

(根拠)

- ・住家の屋根のトタンの飛散

\* この資料は速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。